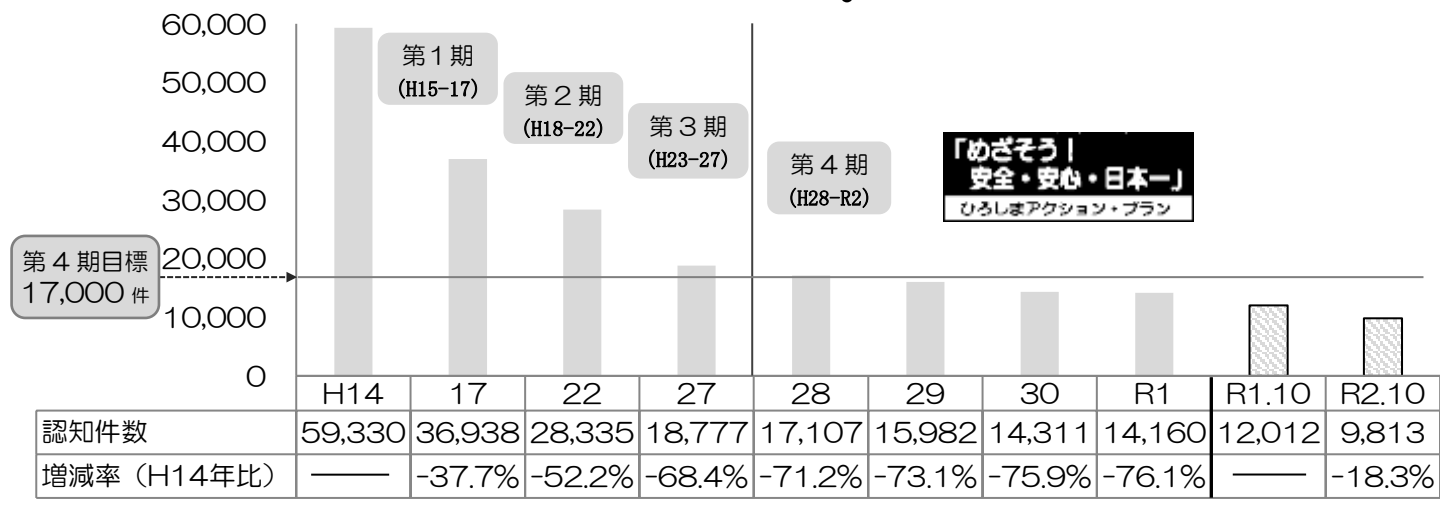


広島県内の犯罪情勢（令和2年10月末現在）

1 刑法犯認知件数（目標：年間17,000件以下）

達成

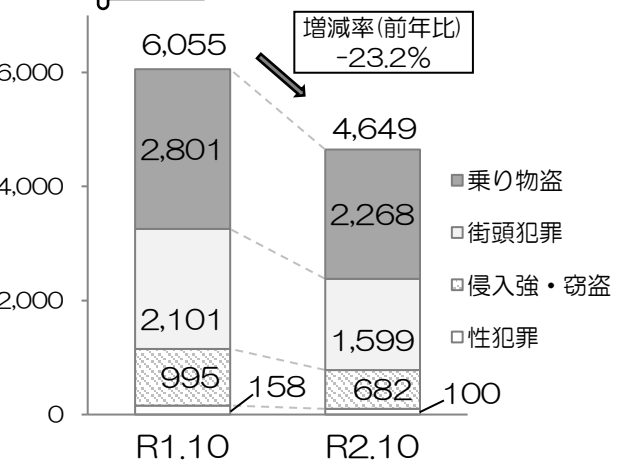


刑法犯認知件数は平成15年以降、アクション・プランに掲げた数値目標を達成しながら減少し続けています。昨年は平成14年比で76.1%減少、第4期の目標（17,000件以下）は、平成29年から継続的に達成しています。本年10月末現在は、前年同期比で2,199件減少（増減率-18.3%）しています。

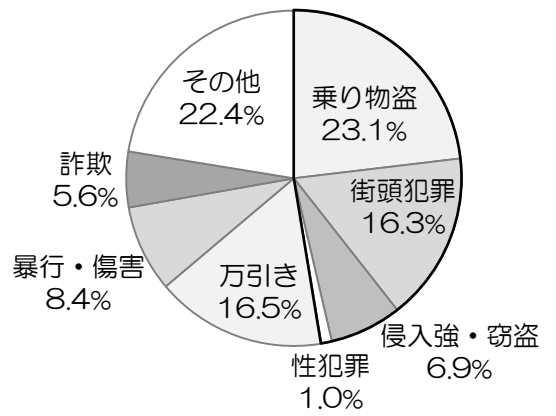
2 身近な犯罪の認知件数（目標：年間8,500件以下）

達成

区分	H14	R1	増減率
身近な犯罪	43,304	7,047	-83.7%
乗り物盗	16,637	3,333	-80.0%
自動車盗	422	41	-90.3%
オートバイ盗	5,409	126	-97.7%
自転車盗	10,806	3,166	-70.7%
街頭犯罪	18,327	2,412	-86.8%
路上強盗	30	1	-96.7%
ひったくり	796	8	-99.0%
恐喝	445	42	-90.6%
車上ねらい	5,244	477	-90.9%
自動販売機ねらい	6,068	210	-96.5%
器物損壊等	5,744	1,674	-70.9%
侵入強・窃盗	7,984	1,129	-85.9%
侵入強盗	46	9	-80.4%
侵入窃盗	7,139	831	-88.4%
住居侵入	799	289	-63.8%
性犯罪	356	173	-51.4%
強制的性交等	64	46	-28.1%
強制わいせつ	292	127	-56.5%



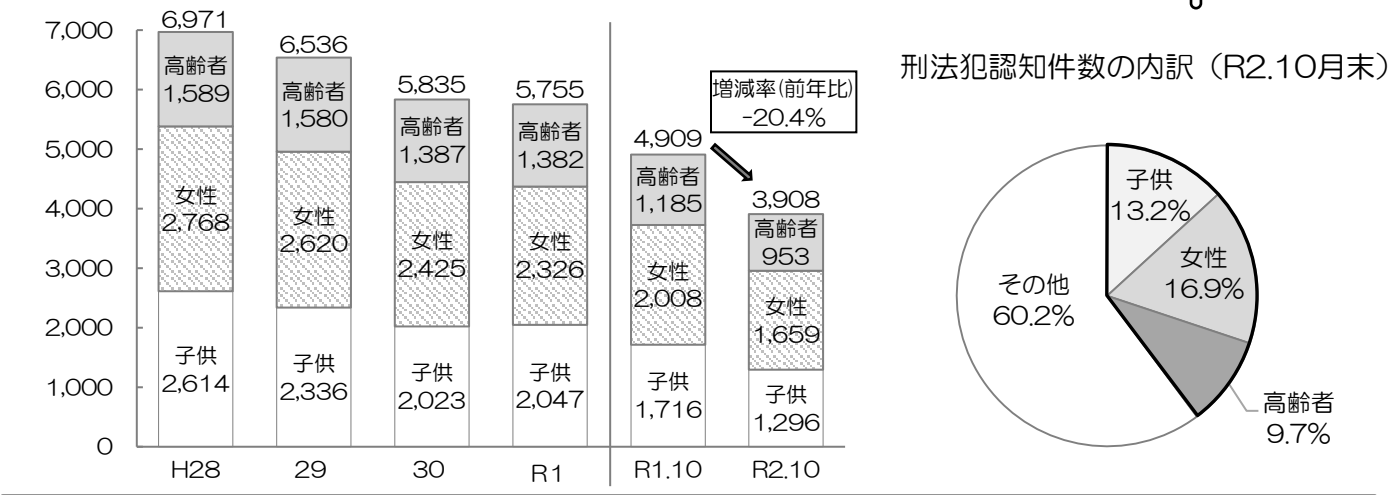
刑法犯認知件数の内訳（R2.10月末）



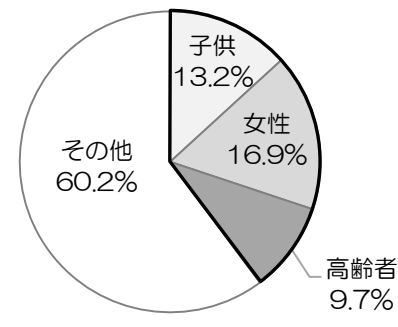
昨年の「身近な犯罪」の認知件数は、7,047件となり、平成14年比で83.7%減少、第4期の目標（8,500件以下）を達成しています。本年10月末現在は、前年同期比で1,406件減少（増減率-23.2%）しています。

3 子供・女性・高齢者が被害となる認知件数（目標：年間7,000件以下）

達成



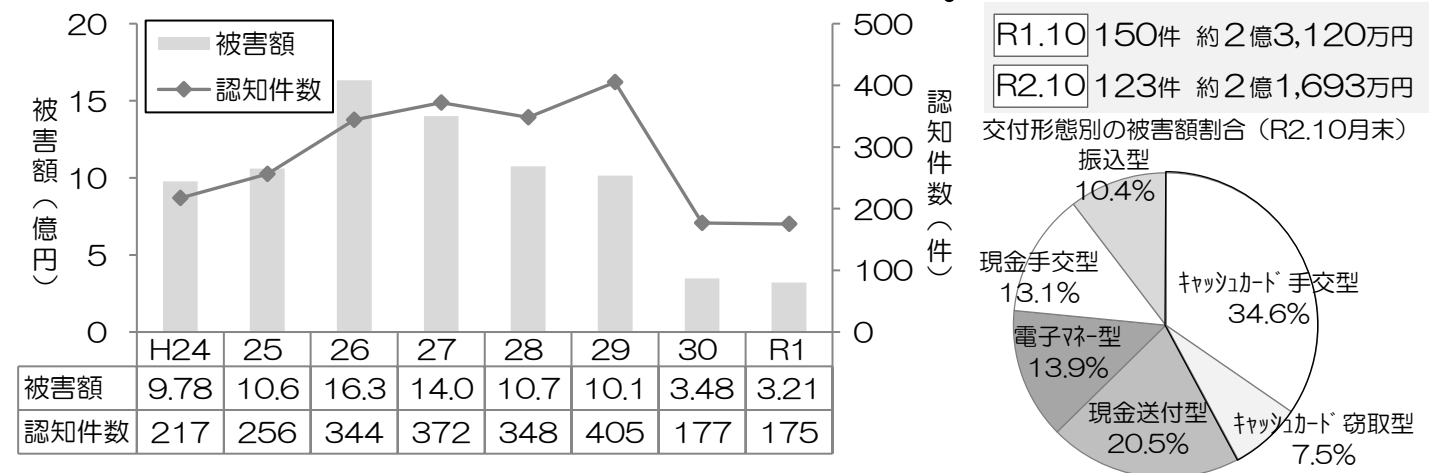
刑法犯認知件数の内訳（R2.10月末）



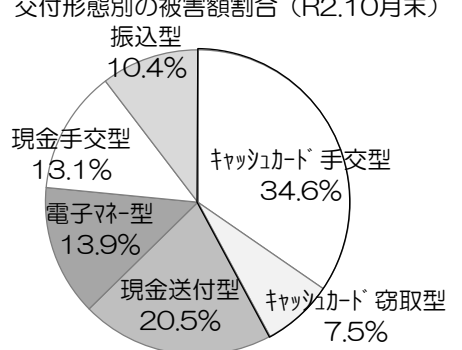
昨年の子供・女性・高齢者の被害は、5,755件となり、第4期の目標（7,000件以下）を4年連続で達成しています。本年10月末現在は、前年同期比で1,001件減少（増減率-20.4%）しています。

4 特殊詐欺の被害状況（目標：年間被害総額5億円以下）

達成



R1.10 150件 約2億3,120万円
R2.10 123件 約2億1,693万円

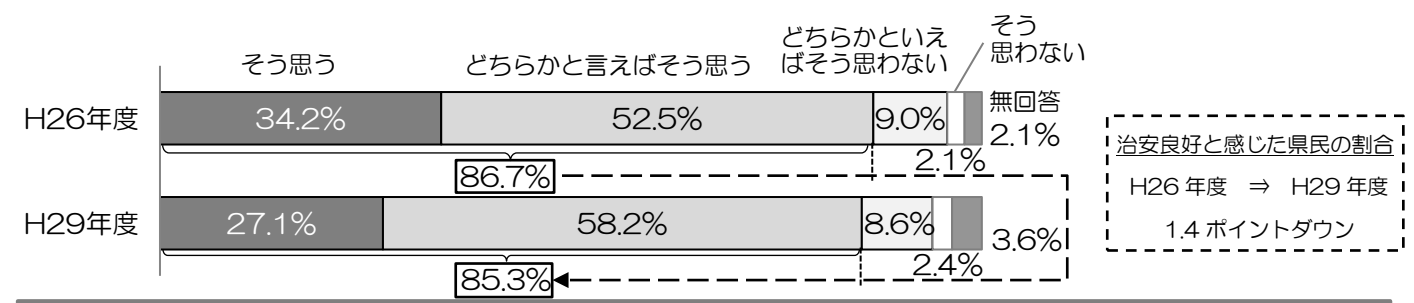


昨年の特殊詐欺被害額は、約3億2,180万円で、2年連続で5億円以下の目標を達成しています。本年10月末現在は、前年同期比で被害額・件数とも減少しています。交付形態別の被害額割合では「キャッシュカード手交型及び窃取型」が全体の4割（42.1%）を占めています。

5 体感治安（目標：治安良好と感じる県民の割合90%以上）

未達成

Q 現在、お住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。



治安良好と感じた県民の割合
H26年度 → H29年度
1.4ポイントダウン

平成29年度の県政世論調査の結果では、居住地域の体感治安について肯定的な回答は85.3%と前回調査から1.4ポイント減少しました。同年調査から18・19歳が調査対象に新たに加わり、この世代の肯定率が67.6%と全ての世代の中で最も低かったことが影響しているものと考えられます。